

マタイ福音書16章13-20節 「キリストの教会」

(はじめに)

- ・ 今日から一ヶ月の間11月は「教会とは何か？」というテーマで聖書を見ていきたいと思います。というのも、今月26日にはグレースシティ始めて以来、記念すべき最初の信徒総会 (congregational meeting) を開いて、牧師、長老、執事を選出するからです。
- ・ グレースシティは2010年のペンテコステ (聖霊降臨日) から始まりました。みんなで7年の間教会開拓に取り組んできましたが、神が少しずつ教会を成長させてくださいました。そこで、永続的な教会のリーダー (牧師、長老、執事) を選んで組織化し、もっと力強くキリストの福音を宣べ伝えて神のすばらしさをあらわしたいと願っています。
- ・ そういう意味では、グレースシティは教会として次の新しいステージに進んでいきます。新たなスタートといってもいいでしょう。そこで、そもそも教会とは何か、長老や執事の役割はどんなことであり、教会の使命について改めて学んでいきたいと思います。今日読む聖書はイエスがどのようにご自身の教会を始めたのか、イエスが教会をどのように見ているのかという、新約の教会の歴史的始まりの物語です。

【マタイ福音書16章13-20節】

- ・ この聖書から、教会とは何か、そのアイデンティティにフォーカスしましょう。第1に教会はイエスを信じる者たちの共同体です。第2に、教会とはキリストのものであり、キリストの恵みと力と権威によって生かされる共同体です。3番目に教会は神の赦しを告げ知らせるユニークな共同体です。①信仰共同体、②キリストの教会、③赦しのコミュニティ。

1. 信仰共同体

- ・ さて、イエスは弟子たちとともに過ごしながら、神の国の福音を述べ伝えました。聖書が約束している福音のメッセージを人々の間で語り伝えて教えるだけではなく、人々の病気をいやしたり悪霊を追い出したりして神の国の到来を宣言しました。(イエスを知りたければ福音書を読んでください。)
- ・ 当然人々の間では、いったいこのイエスという男は何者なのだろうか？といううわさ話や疑問でいっぱいだったことでしょう。驚くべき働きだからです。実は21世紀の現代でも、イエスに対する興味やキリスト教と聖書に関する疑問は絶えることがありません。イエスに対する興味は尽きないのです。

数年前に「ふしぎなキリスト教」という新書が発行され、広く読まれました (2012年の新書大賞第1位)。キリスト教をめぐる哲学者と社会学者による対談という形式で書かれています。その趣旨は、私たちの生きている近代社会は西洋的なものであり、その根幹にはキリスト教があるが、良く理解されていないので、その謎を解明しようというものです。結局のところその中心はイエスとは何者なのか？というテーマです。

- ・ 皆さん、イエスの最も身近にいた弟子たちは何と言っているのでしょうか。弟子たちとはイエスとともに過ごし、彼の一挙手一投足を注視していました。イエスの言葉を一つも聞き漏らすまいとし、彼の行動のすべてをつぶさに目撃した人々のコミュニティです。ペテロが次のようにこたえました。

16:16 シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」

- ・ イエスを目撃した当時のイスラエルのすべての人々が、ペテロと同じように応答したわけではありません。バプテスマのヨハネやエレミヤのような預言者じゃないかと考える人たちも多かったのです。イエスは旧約の預言者のように神のことを告げ知らせていましたし、エリヤのように特別な力を示して人をいやしたり、生き返らせることさえしていたからです。

教会とは何か (1)

- ・しかし、ペテロの信仰の応答は、周りの人々のイエス観をはるかに凌駕するものでした。「生ける神の御子キリスト」すなわち、イエスは神と同じような特別な存在（生けるまことの神ご自身）であり、神から遣わされて救いを行なう救い主、メシアだと宣言したのです。
- ・この信仰の告白と宣言こそが、グレースシティの存在意義でありアイデンティティです。また、教会というコミュニティをこの世にある様々な集団や共同体から区別する特徴なのです。多くの共同体や集団が、愛と互いに助け合う協力関係をあらわしています。もしかしたら、教会よりもはるかに上手に人々を助ける働きをしているかもしれません。しかし、教会だけがイエスを生ける神の子と信頼し、この方のみが救い主メシアであると言い表して、愛と正義を行なうのです。
- ・もちろん、ただ口先だけでイエスが生ける神の子キリストであると言い表すのではありません。なぜなら、イエスを神の子救い主と信じて言い表す私たちの間では、天の父なる神ご自身が生きて働かれるからです。17節を見ましょう。イエスを信じる信仰さえも父なる神の働きによるのです！
16:17 するとイエスは、彼に答えて言われた。「バルヨナ・シモン。あなたは幸いです。このことをあなたに明らかに示したのは人間ではなく、天にいますわたしの父です。
- ・どういことでしょうか？ペテロ自身が自分の心にあることを自分の口で言い表したのではなかったのでしょうか？もちろんそうです。しかし、彼の心を動かしたのは、イエスによって働いている神ご自身が（イエスは神ご自身なので）、ペテロの心に愛と信仰を与えてくださったからなのです。グレースシティでも天の父が生きて働いています！（ひと月ほど前に礼拝の前に一人の男性がぼくのところにやって来てイエスを信じたので洗礼を受けたいと申し出ました。）
- ・恐らく皆さんは、毎日のようにイエスを信じる告白を脅かされることが多いのではないのでしょうか。この世界には神よりまさる力のある確実なものが存在しているかのように見えるからです。そして、私たちは余りうまく行っていません。お金、権力、知恵や才能、さまざまなスキルやリーダーシップ、業績や良い人間関係…。だからこそ神があなたの心にイエスへの信仰の息吹を吹き込んでくれました。
- ・もし、そのようにイエスへの信仰を心において感じている方がいるなら、まだクリスチャンでないと、神の働きかけを拒まないようにしてください。

2. キリストの教会

- ・ところで、イエスは信仰を言い表したペテロに対して、次のようにご自身こそが教会の創立者であり、所有者であり、支配者であると宣言しています。
16:18 ではわたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。
- ・ペテロの信仰告白は、決して彼独自のものであるというわけではありません。彼の個人的な信仰の表明であるとともに、スポークスマン（報道官）として他の弟子仲間を代表して、イエスへの信仰と愛を言い表したのです。この信仰は弟子たちの中で共有されているイエス観であり、共同体的なイエスに対する信仰なのです。それゆえ、イエスは「わたしの教会」を建てると宣言しました。
- ・一般的に教会と聞くとキリスト教の建物、教会堂やカテドラルのようなものを思い起こすかもしれませんが。しかし、聖書において教会堂などの建物を指して教会と言われているテキストは一か所もありません。後の時代にイエスを信じる者たちが集まる建物も指して教会と呼び始めたのです。
- ・元来「教会」（ギリシャ語でエクレシア）とは神によって呼び集められた人々のコミュニティ（会衆）のことを意味しています。ですから旧約聖書でもイスラエルの人々を指して「教会」（エクレシア）と呼んでいます。神のエクレシアが、今やイエスを神の子キリストと信じて告白する共同体として受け継がれて、明らかにされたのです。（神によって呼び集められたコミュニティという意味では、教会は旧約聖書の

教会とは何か (1)

時代にも存在していました。存在の形態は違っていますが、神とともにいる神の呼び集めた人々は創造の初めにも存在しましたので、教会はエデンの園から始まったと言っても良いのです。）

- ・そして、イエスのご自身をキリストと告白する人々を「わたしの教会」と呼んでいます。これは特別な意味を含んでいます。天地万物を創造した神が恵みと救いをイスラエルに与えてご自身の民、ご自分の教会（エクレシア）と呼びました。
- ・同じようにイエスは「わたしの教会（エクレシア）」と言ったのです。すなわち、イエスはイスラエルにご自身を現わし、救いを与えた神と同等の者、神の権威と力と恵みを持っていると宣言したのに等しいのです。当時の文化的背景を考えると、このイエスの言葉は人々の度肝を抜くような驚くべき神宣言と言えるでしょう。
- ・ですから皆さん、教会はキリストのもので、イエス以外のだれも所有権を主張することはできません。なぜなら、キリストは教会のためにご自身のいのちを与えて罪の滅びの中から救い出してくださいましたからです。一般的に会社を始めるときに、資金を出した（集めた）者が会社の経営者となって指導します。そのように、キリストはご自身のいのちを私たちのために投資しました。他の聖書には「神がご自身の血をもって買い取られた神の教会」（使徒20:28）とされています。
- ・確かにイエスは信仰を言い表したペテロに対して、「あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。」と言いました。ですが、ペテロに教会の全権を譲り渡したわけではありません。このストーリーに明らかのように、ペテロは弟子たちのリーダーとして信仰を告白しました。そして彼はその賜物のゆえに、最初の教会を導く働き人の第一人者として活躍したのは間違いありません。
- ・しかし、ペテロが教会を好きなようにできるわけではなく、彼の使徒としての役割も一代限りのものであって継承することもできません。神は絶えず新しい働き人を送ってくださいます。どのような有能なリーダーや立派な犠牲的な働きをした者であっても、教会を支配することは許されていません。

ぼくは昨年心臓カテーテルの最中に血栓が脳に飛んで脳梗塞を起こし、しゃべることができなくなって2週間ほど入院しました。幸い神のあわれみによって完全に回復しました。ちょうどその時グレースシティは2回の礼拝を始める準備をしていたのです。スタッフたちは「教会は神のもの、羊飼いはイエス様」と信じて、2回の礼拝を始める準備していました。ですが、ぼくは「無理しないでいいですよ。ぼくがいない間に無理して2回の礼拝を始めないで、延期してもかまわないですよ。」と言ったのです。それはぼくのプライドや教会に対する所有欲から出た言葉でした。教会はリーダーたちのものでもなく、皆さんのものでもありません。キリストの教会です！
- ・人間は過ちを犯します。ペテロは神の恵みのゆえに、立派な信仰を言い表しましたが、イエスの十字架を予告することばを理解できなかったのです。彼の考えによれば、イエスが十字架について犠牲を払って救いを成し遂げる、まさにイエスの中心的な働きさえ受け入れられませんでした。
- ・私たちはキリストの赦しと力を与える十字架の福音が必要なのです。恵みをもって治めてくれるイエスの権威ある愛にひざまずいて信頼しましょう。

3. 赦しのコミュニティ

- ・さて、最後にイエスは非常に興味深い特別な言い回しをもって、教会が神の和解をもたらす赦しのコミュニティであることを明らかにしています。19節を見てください。

16:19 わたしは、あなたに天の御国のかぎを上げます。何でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは天においても解かれています。」
- ・天の御国のかぎをもって、つないだり解いたりするというこのメタファーは、何を言っているのでしょうか。御国のかぎについて旧約聖書イザヤ書22:20-22には次のような重要なテキストがあります。

22:20 その日、わたしは、わたしのしもべ、ヒルキヤの子エルヤキムを召し、21 あなたの長服を彼に着せ、あ

教会とは何か (1)

あなたの飾り帯を彼に締め、あなたの権威を彼の手にゆだねる。彼はエルサレムの住民とユダの家の父となる。 22

わたしはまた、ダビデの家のかぎを彼の肩に置く。彼が開くと、閉じる者はなく、彼が閉じると、開く者はない。

・イエスの言葉は、旧約の背景があり、それをもとに理解することが大切です。イエスのご自身の教会に罪の赦しのミニストリーをお与えになりました。「ダビデの家のかぎ」は「天の御国のかぎ」と言い直されて、それによって天の御国（神の国）に入ることができます。

・また、つなぐ、解くとは、つなぐは罪に定めること、解くとは罪を赦すことを意味しています。同じマタイ福音書でイエスが言っているテキストも見てみましょう。マタイ18:15,18。

18:15 また、もし、あなたの兄弟が罪を犯したなら、行って、ふたりだけのところで責めなさい。もし聞き入れたら、あなたは兄弟を得たのです。… 18 まことに、あなたがたに告げます。何でもあなたがたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたがたが地上で解くなら、それは天においても解かれているのです。

・皆さん、教会とは神との和解のために、キリストの福音を告げ知らせる赦しのミニストリーを行なうコミュニティです。16章ではペテロ個人に天の御国のかぎがゆだねられ、彼は当時の教会のリーダーとして働きましたが、その役割はあくまでも鍵係に過ぎません。そのカギを作って与えるのはキリストご自身です。また、18章によればこの鍵をもって赦しのミニストリーに携わるのは、弟子たち全員であり、すべてのクリスチャンなのです。

・それゆえ、教会とは赦しのコミュニティです。私たちがいったいどのような現状にあるのかを思い起こしましょう。この世界は差別と争い、憎しみと戦いに満ちていて、不一致とケンカ、ねたみや怒りで苛まれています。だれもが一致と和解、平和と愛、赦しと一つになることを必要として苦闘しているのです。一触即発の危機に瀕した世界の中で、息をひそめてやり過ごすのもうやめましょう。

・東京に来てグレースシティの教会開拓を始めた2009年、丸の内、大手町、銀座、霞が関をプレーウォークをしながら、しばしば考えたのは、本当にここには教会が必要か？牧師がいる必要があるのか？という問いでした。仕事、業績、スキル、能力、成功、お金、権力、そのようなものの拠点であるビジネスの中心地で、教会開拓や牧師の存在意義はあるのか？と不安や怖れとともに感じました。そのときに読んだ新聞記事があります。

・「許しには力がある」 勝間和代（経済評論家、公認会計士）「人生を変えるコトバ」（朝日新聞090606夕刊）
「相手や…自分を許すことで、将来を考えることができるようになり、悪影響から逃れられます。…すべての否定的な事柄に対して怒りの感情から自由になり、中立的に考えられるようになりました。…相手の立場になって「理解」してみる。…理解の次には「受容」が必要です。…「あのとき、あの人も苦しかったのだ。だから私は○○さんを許します」と口にすることで、許しの力がわいてくるのです。」

・聖書によればすべての争いや敵意の根源は、神から離れて傷つき、怒りやむなしさに疲れ果てている罪にあるのです。神の赦しと神の和解を受け入れてください。その赦しのリアリティは、コミュニティにおいて、コミュニティを通して明らかにされるのです。神の赦しを経験した者が神の愛の言葉を語るとともに、その現実をあらわして悔い改めたり、友人に対して謝ったり、同僚を赦したりすることで、赦しのミニストリーに携わります。マタイ18:19-20。

19 まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。 20 ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。

・教会は何とユニークな共同体でしょうか。キリストによって神の赦しを受けて、互いに赦し合い、さらに私たちの周りの人たちに赦しの恵みを分かち合っていくのです。

【マタイ福音書16章13-20節】

16:13 さて、ピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに尋ねて言われた。「人々は人の子をだれだと言っていますか。」

16:14 彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人もあり、エリヤだと言う人もあります。またほかの人たちはエレミヤだとか、また預言者のひとりだとも言っています。」

16:15 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

16:16 シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」

16:17 するとイエスは、彼に答えて言われた。「バルヨナ・シモン。あなたは幸いです。このことをあなたに明らかに示したのは人間ではなく、天にいますわたしの父です。

16:18 ではわたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。

16:19 わたしは、あなたに天の御国のかぎを上げます。何でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは天においても解かれています。」

16:20 そのとき、イエスは、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない、と弟子たちを戒められた。